

8-3-7 持続可能な社会構築検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

委員会開催回数:9回

(企画委員会と同一日に開催)

(2) 委員会の活動経緯

当WG発足以来、建設コンサルタントの企業価値向上や長期的なリスクを踏まえた安定経営のためのビジネスの切り口からSDGsに関する活動を実施し、業界内外に向けた、“SDGsに関する提言”の発信、リーフレットの作成などを行ってきた。

令和5年度は、前年度の検討を踏まえ、提言を要約したリーフレットの作成、SDGsプラットフォームへの登録、協会各社のSDGsサイト集の検討などを行った。

(3) 委員会の活動内容

a) リーフレットの作成、掲載

SDGsに関する提言「SDGsでひらく建設コンサルタントの未来」を令和4年度に協会ホームページに掲載したが、この内容を要約したリーフレットを作成し、協会ホームページのパンフレットコーナーに掲載した。

内容は建設コンサルタントにおけるSDGs(17ゴール)の取り組みを4つのカテゴリーに分類し、各カテゴリーについて建設コンサルタントの取り組みを記載したものである。

b) 外部プラットフォームへの登録

協会ホームページに提言を掲載したことを機に外部のSDGsプラットフォームに建設コンサルタント協会として登録を行った。プラットフォームとしては、内閣府地方創生プラットフォームとし、業界内外に建設コンサルタントのSDGsへの取り組みを発信した。

c) 協会会員各社のSDGs関連サイトの収集

協会会員各社のSDGsに対する啓発並びに外部への取り組み発信のため、会員各社のコーポレートサイトにおける関連サイトの有無、サイト集掲載可否についてアンケートを

実施し、142社から回答があった。今後は各社サイトのリンク集作成し協会ホームページ掲載する予定である。

d) DE&Iに関する検討

「地球上の誰一人として取り残さない」を理念とするSDGs達成に取り組む上で、ジェンダー平等は他の全ての目標と不可分の関係である。現在は、性別に起因するジェンダー平等の観点からダイバーシティ(多様性)&インクルージョン(包括性)(=D&I)が着目され、更にはD&Iに「Equity(公平性)」を加えた一步進んだ概念としてDE&I(ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン)が広がっている。将来的な人口減少による人材不足というリスクに対応し持続的な企業経営を達成するため、DE&Iの必要性、課題、取り組みなどに関する検討を開始した。

e) 建設コンサルタント白書での発信

建設コンサルタント白書ではSDGsへの取り組みについて発信しており、令和6年度版については、「ジェンダー平等からDE&I、担い手確保へ」と題し、企業経営におけるDE&Iの必要性を発信する。

2. 次年度の活動について

令和5年度に継続して、以下の活動を進める。

- (1) 協会会員各社の支援となる、SDGs経営に関する更なる発信
- (2) 建設コンサルタントにおけるDE&Iの提案とりまとめ
- (3) 会員各社の取り組みについての発信

(持続可能な社会構築検討WG WG長

山本 誠二)